



田園風景が...

延々と続く「フレコンバッグ」の山
再生に欠かせない優良農地を占有(800haのうち300ha強)

ふくしま再生短信 2015 12/8 (第9号)

第2回福島報告会

ふくしまに集う

再生への道

伝統、文化、知恵

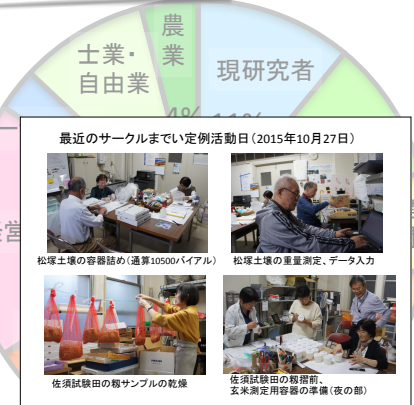
村民

分断を乗り越える協働が必要

いいたて協働社

共感と協働

ふくしま再生の会



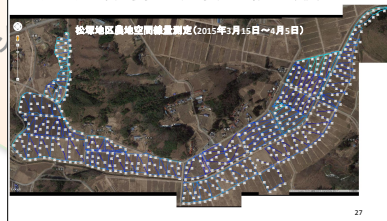
(2015年3月現)

公共サービス

行政

放射線の徒歩測定

ボランティア会員が徒歩で測定 歩行跡と線量の数値表示



自多

ティア
る活力

職業経験/専門知識・技術
柔軟な対応
きめ細かいケア



専門知識・技術

大学・研究機関

現地土壌博物館



松塚地区(2015.10.11)

【人物写真(左上から)】飯館電力社長・小林稔さん、山田牧場主人・山田猛史さん、元福島県知事・佐藤栄佐久さん【発表スライド写真(上から時計回り)】それぞれ再生の会・宗夫、伊井、小原、中町、溝口、のみなさんの報告資料【背景スライド】田尾さんの報告資料から。

2015年11月6日午後4時から福島県庁南再エネビル3階でふくしま再生の会第2回福島報告会「福島・飯館村の再生に向けて」がふくしま再生の会主催・飯館電力株式会社後援により開催された。再エネビルとは「福島県再生可能エネルギー合同ビル」のことで、現在同ビル2階に再生の会福島事務所をおいている。

飯館電力・小林稔社長、再生の会副理事長・菅野宗夫さんからの冒頭挨拶のあと、復興庁青木次

長、再生の会への委託事業を実施している飯館村役場の中川喜昭課長の挨拶に続いて、元知事の佐藤栄佐久さんから励ましの言葉があった。

報告は「ふくしま再生の会とは何か/その全体像(理事長・田尾陽一)」「飯館村の現状と再生への課題(副理事長・菅野宗夫)」「飯館村の農業再生の構想(副理事長・溝口勝)」「モニタリング活動についての報告「地域の放射線・放射能の状況をつかむ」(理

事・小原壮二)」「放射能分析チーム、サークルまでの活動(理事・伊井一夫)」「健康・医療ケアチーム」の報告(理事・中町美佐子)」の6テーマについて行われた。報告に続いて山田猛史さんからは自身が「営農再開の先駆けになる」「後継者に安心できる親の姿を見せたい」「再生の会との協働に希望あり」との発言があった。会場との密度の高い討議のあと懇親会に移行した。

(撮影・文責:若林一平)